

平成31年度 事業計画書

(自 平成30年9月1日 至 平成31年8月31日)

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン

目次

●メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

●事業計画

I. ウィッシュ事業

1. 夢の実現
2. 広報活動
3. 会員増加及び寄付活動
4. ボランティアの養成と支援

II. イベント事業

III. 物品販売事業

IV. 不動産賃貸事業

V. 法人管理

●メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

メイク・ア・ウィッシュは1980年にアメリカで始まりました

メイク・ア・ウィッシュが生まれたのは、1980年。アリゾナ州に住むクリスという少年の夢をかなえたことが始まりでした。

7歳のクリスは警察官になるのが夢でした。しかし、クリスは白血病にかかり、学校に行くことさえもできなくなってしまいました。この少年の話聞いたアリゾナ州警察の警官たちは、クリスのために制服やヘルメット、バッジを用意し、彼を一日名誉警察官に任命しました。

本物そっくりの白バイに乗って駐車違反の車の取締りをしたり、ヘリコプターに乗って空からパトロールして、クリスはこの上なく幸せな時間をすごすことができました。この日、クリスの夢はかなったのです。

残念ながら、この素敵なお一日からほんの数日後、安らかな顔でクリスは旅立っていきました。アリゾナ警察では、名誉警察官のための葬儀を執り行い、彼を見送ったのでした。

クリスの夢の実現に関わった人々は、クリスのように大きな夢を持ちながら難病と闘っている子どもたちが他にもたくさんいるに違いないと考えました。こうして設立されたのが、「メイク・ア・ウィッシュ」です。

メイク・ア・ウィッシュはこんな団体です

メイク・ア・ウィッシュ(make a wish)とは、英語で「願いごとをする」という意味です。メイク・ア・ウィッシュ(MAW)は「難病の子どもの夢をかなえる」ことを目的とした国際的な非営利団体です。

難病と闘う子どもたちには、一人ひとりに心に描いている夢があります。そんな夢を実現するために、準備・資金・労力・・・など、あらゆる便宜を可能な限り提供し、夢を実現することによって、子どもたちに生きる力や病気と闘う勇気をもってもらいたい—それがメイク・ア・ウィッシュの願いです。

現在、メイク・ア・ウィッシュの国際組織メイク・ア・ウィッシュ インターナショナル(MAWI)の傘下では、40の国や地域が共通の規範を基に活動を行っています。メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン (MAWJ) もその一員として、MAWIから財政的な支援は受けず、あくまでも独立した支部運営を行っています。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンの歩み

日本におけるメイク・ア・ウィッシュの活動は、平成4年に沖縄でスタートしました。その後、平成6年に事務局を東京に移し、平成21年には一般財団法人になりました。現在は全国8都市に支部を開設して活動を展開、登録ボランティアの数も500名を超え、年間200名を超える子どもの夢をかなえています。また、私どもの活動は様々なメディアでも大きく紹介されてきましたが、平成28年には公益社団法人ACジャパンの協賛キャンペーンにも選ばれ、支援の輪がさらに広がっています。平成29年9月16日からは公益財団法人として活動を続けています。

メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは平成5年に「遊園地へ行きたい」という夢をかなえたことを第一歩として、その後「野生のイルカと泳ぎたい」「ウルトラマングレートと一緒に闘いたい」「世界一大きいヘラクレスオオカブトムシに触りたい」「サンタクロースと遊びたい」など、多くのすばらしい夢をかなえるお手伝いをすることができました。

これからも、ひとりでも多くの子どもたちの夢をかなえ、すてきな笑顔と出会うために、メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは活動を続けていきます。

●事業計画

I. ウィッシュ事業

ウィッシュ事業は、「難病の子どもたちの夢をかなえるお手伝いをする」活動全般そのもので、当団体の中核事業です。

難病の一次定義は「命にかかわる病気・病状」であり、具体的な病名は当団体の定める病名リストに基づきます。ウィッシュチャイルドが対象になるかどうかの最終判断は、子どもたちの主治医が医学的見地から認定します。小児がんなど、当団体の設立当時には不治の病といわれた病気も、医療技術の飛躍的な進歩により、今やその7割を超える患児が小児がんを克服できるようになりました。しかしながら、今なお多くの子どもたちが難病との闘いを余儀なくされています。メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは、対象となる全ての子どもたちに夢をかなえる機会を持ってもらうべく、今年もウィッシュ事業を進めてまいります。

1. 夢の実現

平成29年には、227人の子どもたちの夢をかなえることができました（対前年で+40人、+21%）。実現した夢を分類すると以下のようになります。

()内数

行きたい	162人
ディズニーリゾート	(91)
スポーツイベント	(2)
国内旅行	(60)
海外旅行	(4)
その他	(5)
なりたい	5人
会いたい	32人
有名人	(26)
その他	(6)
欲しい	28
動物	(3)
電気製品	(12)
おもちゃ	(6)
パーティー	(1)
その他	(6)
合計	227人

昨年は、夢の実現一件あたりの直接費用は約 243,000 円でしたが、今事業年度も同等の水準を見通しています。今事業年度においては、278 名の子どもの夢をかなえることができるように、全力を尽くしてまいります。

2. 広報活動

当団体やその活動についての認知を高めるべく、広報活動をより積極的に展開してまいります。平成 28 年から始まった AC ジャパンの支援キャンペーンでは、昨年は 2 年目となり新しい CM『夢の実現が人生を変える』が TV・ラジオ・交通広告などを媒体として全国展開され、これまで以上に多くの方々にメイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンのことを知ってもらうきっかけになりました。今事業年度に関しましては、全国各地での講演活動に加え、メルマガや Facebook、Instagram などのソーシャルネットワークの活用をこれまで以上に積極的に推進してまいります。

3. 会員増加及び寄付活動

当財団にとっての最大の収益源は寄附金収入です。より多くの個人や企業の皆さんに財政的支援をいただくべく、積極的な広報活動や様々なイベントを通じた啓蒙活動を展開してまいります。

加えて、より寄付をしていただきやすい環境整備に取り組みます。具体的には、支援会員制度の見直し、ネットからの寄付の仕組みの改善、提携クレジットカードの会員拡大等を進めてまいります。

メイク・ア・ウィッシュ インターナショナルの働きかけもあり、APAC 地区で他の国の支部と連携して寄附金募集を行うことも検討しております。

今事業年度は、会費と寄附金を合わせて 101,000 千円の収益を計画しております。

4. ボランティア養成と支援

夢の実現はボランティアによって支えられています。ボランティアの養成については、現在、東京本部では年二回ボランティアトレーニングを開催していますが、各支部でも同様の取り組みを進めてまいります。

情報共有を主な目的に、毎月第三火曜日に東京本部でボランティア定例会をひらいていますが、更にきめ細かにボランティアの活動を支援するために年 4 回のペースでフォローアップミーティングを開催していきます。

II. イベント事業

当財団の活動をより多くの人に知っていただき、ご支援をいただきたい。そのような想いで、様々なチャリティーイベントを全国各地で開催しています。

今年度に計画している主要イベントは、以下の通りです。

支部	名 称	年月	予定参加者(人)
東京	チャリティー・マラソン大会 注(1)	2019年4月	600
	チャリティー・子どもの日コンサート	2019年5月	150
	チャリティー・声楽コンサート	2019年11月	100
	チャリティー駅伝大会	2018年11月	700
札幌	チャリティー・ゴルフコンペ	2018年9月	30
	チャリティー・ラン&ウォーク	2018年9月	500
仙台	チャリティー駅伝大会	2019年6月	400
	チャリティー・レディーステニス大会	2018年11月	60
静岡	チャリティー・マラソン in つま恋	2018年11月	400
名古屋	チャリティー・マラソン in 庄内緑地 2019	2019年4月	250
	チャリティー・コンサート	2018年9月	150
	チャリティー・ボウリング	2019年8月	100
関西	チャリティー・ランチコンサート	2019年2月	60
	World Wish Dayチャリティー・ウォーク in Kyoto	2019年4月	100
	奈良チャリティー・ウォーク	2019年10月	50
広島	チャリティー・リレーラン	2019年9月	300
	チャリティー・ランチコンサート in 広島	2019年6月	200
	チャリティー・コンサート in 松山	2019年9月	180
福岡	チャリティー・ボウリング大会 in 鹿児島	2019年8月	120
	チャリティー・ラン&ウォーク in うみのなかまち	2018年11月	420
			4,870

注(1) 2020年東京オリンピックに向けた整備事業の影響で、江東区夢の島でのマラソンイベント開催が現時点では不確定になっています。

今年度のイベント開催による収益は14,300千円を計画しております。

III. 物品販売事業

当財団ではオリジナルグッズを作成し販売しています。今年度のカテゴリー別販売計画

は以下の通りです。

物品販売事業 内訳

		千円	
		品数	売上
	書籍	5	1,500
	アパレル	5	1,500
	文具	8	1,000
	アクセサリー	9	1,000
オリジナルグッズ			5,000
バザー			1,400
本の印税			500
物品販売事業 合計			6,900

IV. 不動産賃貸事業

当財団は、平成 22 年に支援者より遺贈を受けた不動産（アパート）を東京都渋谷区西原に保有し、その管理は京王不動産株式会社に委託しております。

今年度は 9,000 千円の賃借収益を計画しております。

V. 法人管理

今年度は以下の重点課題に取り組んでいく所存です。

- ・メイク・ア・ウィッシュの国際組織 MAWI と連携して、グローバルレベルでのファンドレイジングに取り組んでいく
- ・スタッフの世代交代を受け、福岡支部や広島支部で新しく採用されたスタッフの教育と戦力化を進める
- ・公益法人に求められる機関運営やガバナンスを着実に実行していく

以上